

美術鑑賞豆知識②

佐川美術館
学芸員・栗田 頌子



美術館を訪れたときに展示室が暗いと感じたこと、一度は経験がありませんか。これは、作品を光から保護するという理由があります。

実は、照明などの「光」は、作品の劣化を招く要因の一つです。光によるダメージを受けやすいか否かは作品の素材によって異なり、例えば当館の所蔵品だとフロンズ彫刻(金屬)、茶わん(陶器)は光に強く、日本画(紙)は光に弱い性質を持っています。

そのため、美術館では展示品の特性に合わせて照明の強さ(照度)を調整しており、日本画など紙の劣化や絵の具の退色に配慮が必要な作品を展示する際は、展示室の地明かりやスポットライトの照度を下げます。また、照明は当て方を少し変えるだけで作品の印象が大きく左右されることから、学芸員は作品への光のダメージを最小限に抑えつつも、作品の美しさや魅力を最大限に引き出すために試行錯誤しながら照明作業を行っています。制約がある中で作り上げた展示空間について、お客様からうれしいご意見をもらえたときはとてもやりがいを感じます。

美術品は後世に長く残していくのはもちろんのこと、広く公開し、鑑賞されてこそ存在価値があるのです。美術館を訪れた際は作品だけでなく、照明にも注目してみてください。美術品と光の関係を中心に留めていただくと、作品について理解が深まったり、演出効果のこだわりを知ることができたりして、美術鑑賞がより面白くなるかもしれません。

※開館情報は、佐川美術館ホームページでご確認いただくか、電話☎(585)7800でお問い合わせください。

複十字シール運動と募金活動

9月24日(水)～30日(火)は「結核・呼吸器感染症予防週間」です。世界では、今でも年間125万人が結核で亡くなっています。

複十字シール運動とは、結核を中心とした胸の病気をなくして、健康で明るい社会をつくるための運動です。募金活動を行うとともに、病気への理解を深め、予防の大切さを伝えています。募金した人には、複十字シールと封筒をお渡しします。ぜひ募金のご協力をよろしくお願いします。

時9月24日(水)～10月24日(金)

募金場所 すこやか生活課 窓口



問すこやか生活課

☎・有(581)0201 FAX(582)1138

社会教育・文化振興課からお知らせ

佐川美術館 長期休館

施設の改修およびメンテナンス工事に伴い、長期休館に入ります。ご不便・ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



佐川美術館
ホームページ

時9月29日(月)～令和8年6月30日(火)



図佐川美術館

☎(585)7800 FAX(585)7810